

徳大卒業生 就職活動体験記(2)

名前：Kaliba Aggrey (カリバ・アグレイ)

出身：ウガンダ

学歴：徳島大学大学院先端技術科学教育部 システム創生工学専攻
電気電子創生工学コース博士後期課程 (2013 年度修了)

会社：株式会社エクセディ (大阪)

仕事内容：生産関係



(1) 私が日本企業に就職しようと思ったきっかけは？：

日本の奨学金プログラムに参加できたのがきっかけです。日本に留学した当初は、最新技術を学び、その技術や知識を母国で活用することを考えていました。日本で高度な技術を学んで、将来のキャリアとしてエンジニアとして活躍できればいいなと思っていました。

徳島大学で電気・電子工学を学んでからは、その知識を応用して実際の職場でより多くの経験を得たいと考えようになりました。それに、私の日本語能力が向上すれば、将来、経済的にも産業的にもウガンダと日本の相互交流に貢献できるだろうとも考えました。そういうわけで、私は日本企業に応募することにしました。

(2) 就活で苦労したこと&成功したポイント：

私は、今、日本の大手自動車メーカーにクラッチ/トルクコンバーターを供給しているエクセディ株式会社に勤務しています。自分にとって比較的なじみのある分野で、興味を持って仕事をしたいと思っていた会社に採用されたことは、とても幸運だったと思っています。私にとって就職活動の重要なポイントは、早いうちに自分が本当にやりたいことや夢見ていることを見つけ、就職に向けて必要な行動を起こすことでした。最初にやりたいことをじっくり考え、早い時期から留学生向けの無料就職支援サービスを利用したことはとても効果的だったと思います。また、説明会で会社の概要を説明してもらい、会社についてより詳しく知ることができたのも良かったと思います。

難しかったのは、就職したいと思っている会社があなたを採用してくれるかどうか分からないので、常にチャンスをオープンにしておかなければならないことでした。最終的に私は約 60 社に応募したのですが、準備に時間がかかるし、現地で面接を受けるにもお金が必要になります。これらの点は少し大変でした。

(3) 今後の抱負：

今のところ、自分は車の部品に関わる仕事をしており、デザインの見直しや生産計画、生産管理に関する業務を担当しています。時折、納期や決め切りがあって大変なのですが、毎日の仕事は刺激的で、チームで課題を解決するのはとても楽しいと思います。将来は、もっと技術を身に付け、プロジェクトのリーダーとして日本や外国のお客様に役立つ製品を作りたいと考えています。